

協 議 会 会 議 録 要 旨

会議名称 第1回伊那市地球温暖化対策地域エコリーダー協議会
日 時 平成24年9月10日(月) 午後3時から午後4時30分まで
場 所 伊那市役所 304会議室
出席者 委員9名(欠席者なし)
部長・事務局4名

委員の委嘱及び会長選出

会 長：稲辺 謙次郎 氏
副会長：伊藤 正 氏

議 題 (1) 伊那市地球温暖化対策実行計画概要説明
(2) 推進計画、スケジュール、検証方法、平成24、25年度の推進方法
(3) 家庭、事業所における温暖化対策事例情報交換
(4) 今後の協議会日程
(5) ホームページ

【議事要旨】

- (1) 伊那市地球温暖化対策実行計画概要説明
(事務局) [資料1 「伊那市地球温暖化対策実行計画書及び概要版」説明]
- (2) 推進計画、スケジュール、検証方法、平成24、25年度の推進方法
(事務局) [資料2 「推進計画・スケジュール・検証方法」説明]
(委 員) 平成24年度の推進計画があるが、既に半年が過ぎようとしており、目標達成はできるのか。
(事務局) 計画にある事業の一部は先行して実施している。夏の節電も重要だが冬の節電はもっと重要になるのでこれから広報等実施して取り組みたいと考えている。
- (3) 家庭、事業所における温暖化対策事例情報交換
(事務局) [資料3 「冬の省エネ・節電対策」説明]
(委 員) 薪ストーブと太陽光発電システムを設置している。燃料代及び電気代が大幅に削減された。特に太陽光発電は売電分と自家消費により電気代の削減ができた。月5～6万円が1万3千円、売電額が1万円ちょっと。国の補助でビニールハウスを二重にした。結果、年間の燃料費1千万円が45%削減できた。農家へのPRをしたらどうか。
95%が森林を占める地域における木質バイオマス発電の導入を検討したらどうか。

- (委員) 現状では、研究する部分が多くある。自然エネルギー全般の普及を目指したらどうか。
木質バイオマス発電の買い取りには疑問がある。
この協議会では各種エネルギーについての勉強が必要ではないか。
- (委員) 当組織は65名の会員で平均25名が参加している。安全に作業するようになっている。
上伊那地域の新築には煙突が付いている住宅が多く見られる。
家ではグリーンカーテンをやっているがこの地の気候に合わないものにしてしまった。
- (委員) 市内の各学校ではグリーンカーテンに取り組んでいる。
- (委員) 桜を通じた環境学習を実施している。
- (委員) 意識の啓発が大事である。事業者は利益が一番だが努力もしている。
- (委員) 家庭の省エネを推進したい。
- (委員) 広報することは大事。でも紙だけでは不十分なのでロコミが一番効果がある。
グリーンカーテンをやっているが、今年はゴーヤにした。
主婦ができることを少しずつ実践することが大事である。
- (委員) アイドリングストップを実施している。
節電を実施するとともに照明のLED化も進めている。
ノーマイカーデー運動を実施している。
毎週水曜日はノーマイカーデーの日として、お得な回数券も販売している。(1,300円分が1,000円)

(4) 今後の協議会日程

- (事務局) 今年度はあと2回会議を開催予定で、1月中旬と3月としたい。
開催時間は何時がよいか意見をいただきたい。
- (委員) 夜は避けていただきたい。
- (委員長) では、本日と同じ時間での開催とします。

(5) その他

- (事務局) 協議会のホームページを伊那市のホームページ内に作成し、活動報告や施策を掲載し啓発と推進を行いたい。
- (委員) 是非、行なってください。
- (事務局) 冬の省エネのチラシについて、21日(金)までに意見をいただきたい。

会議終了